

令和5年7月5日

名古屋美容専門学校
校長 塚本 紀之 殿

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会報告書

学校関係者評価委員会
委員長 藤田 京美

「自己評価報告書（評価対象期間：令和4年度）」に対し、学校関係者評価委員会を実施しましたので、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 日 時 令和5年6月27日（火）9時45分～11時15分
2. 場 所 名古屋美容専門学校 3階 応接室
3. 出席者 [委員5名] 藤田 京美（株式会社サムソン Sophia 取締役）
丹羽 健太（HAIR ICI 代表取締役）
秋本 麻帆（卒業生：SISU スタイリスト）
仲根 大輔（株式会社昭栄広報 名古屋支社 次長）
石井 小有里（在学生：保護者）
[教職員5名] 校 長 塚本 紀之
事務長 小川 孝智
教務部長 垣本 勝三
教務主任 前田 利夫
就職担当 杉本 将志
4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（各委員に自己評価報告書等は事前に送付済み）

評価項目	評価	評価項目	評価
(1) 教育理念・目標	4	(6) 教育環境	3
(2) 学校運営	4	(7) 学生の受入れ募集	4
(3) 教育活動	4	(8) 財務	4
(4) 学修成果	3	(9) 法令等の遵守	4
(5) 学生支援	4	(10) 社会貢献・地域貢献	3

[評価基準] 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

I 重点目標について

令和4年度もまだコロナ禍であり、イベントやコンテストに多くの制約がある中で、名古屋美容専門学校（以下：名美専）は可能な限り「学習を継続する」「進路を止めない」学校運営をしてきたことがよく理解できました。

5年度から導入の新カリキュラムには10サロンとの意見交換をして「活躍できる美容師養成」を目標にまとめ上げた。名美専はブランド樹立の段階に入っており、そのためには国家試験（以下：国試）の高い合格率の常態化、コンテスト成果、第一希望サロンへの就職率80%に向けた指導、低い退学率、入学定員一杯の募集を継続するとのことでした。昨年度は学生技術大会における全国優勝があり、成果も出ています。今後を見守りたいと思っています。

II 各評価項目について

1 教育理念・目標

- ・「建学の精神」を基本として学校運営をしていることがよくわかり、各教室に掲げられているという「建学の精神」の額も初めて見せてもらいました。名美専は、美容師養成という職業教育を標榜しており、特長として技術に取り組む真面目さなどがサロン関係者にしっかり感じられていると思います。

2 学校運営

- ・情報化についての現状確認と課題について説明がありました。コロナでのリモート授業の実現などご苦労も多かったと推察します。現状では大きな問題は感じませんでした。名美専がDX推進に向けて意欲と意識を常に高く持っていることがわかりました。

3 教育活動

- ・常に産業界の変化を取り入れようとしている姿勢が感じられました。新カリキュラムを準備するために10サロンからヒアリングしたとのこと、今後の成果に期待します。また、日頃の授業をレベルアップしたいという学校の意欲を強く感じました。

4 学修成果

- ・国試合格率および就職率ともに他校より高い成果がでているものの、さらに上を目指す姿勢が強く感じられました。学校はレギュラー5項目（国試合格率、第1希望サロン就職率、退学率、コンテスト、入学定員一杯の募集）を設定し、通常の教育の中で高い成果を狙えるように学校運営しています。レギュラー5項目はブランド樹立にも関連する重要事項であり、ブランド向上策の一環との説明がありました。

5 学生支援

- ・「先生たちの手厚い支援」が名美専の特長でもあると思います。労働時間管理が厳しくなる中、無制限に学生へ寄り添うことは難しい時代です。学内での時間配分をご検討いただければと思います。

6 教育環境

- ・コロナ禍に「学習を継続する」だけでもご苦労があったと思います。Zoomや課題学習でのレベルダウンを自己評価で指摘してありましたが、他校より学習に向かう意識レベルは高いと思います。
- ・「単なる美容師」ではなく「活躍できる美容師養成」のために新カリキュラムを準備したと聞きました。大変な作業だったと思いますが、頑張っていたと思います。
- ・インターンシップは日数の長短と回数が議論となり、委員会では短い日数であっても複数サロンを経験することに意味があるとの意見が多かった。学校で再検討していただき、教育に反映させてもらえればと思う。
- ・名美専が力を入れている産学連携は学生の職業意識形成や、技術習得意欲向上に役立っていると信じています。

7 学生の受入れ募集

- ・毎年、定員一杯を集めているとのこと。少子化の現代においては大変なご努力だと思います。特に問題ありません。良いと思います。

8 財務

- ・特に問題ありません。良いと思います。

9 法令等の遵守

- ・特に問題ありません。良いと思います。

10 社会貢献・地域貢献

- ・コロナ禍継続のため、一部ボランティアを中止し、イベントや社会貢献活動も自粛しての実施であったとのこと。学校の安全安心も必要だったとの説明を受けました。仕方のないことと判断します。名美専では、社会貢献やボランティアは学習とのバランスの中でやっているようです。それで良いと思います。

11 国際交流

- ・毎年、卒業後に留学する者が1～2名いるとの報告を受けました。自己評価で数値がなく、学校関係者委員会も数値評価をやめました。

Ⅲ その他

- ・令和4年度は「新カリキュラム準備」が大きな作業だったと思います。「活躍できる美容師養成」を目的としており、常に上を目指す姿勢を強く感じました。準備においてサロンの声を反映させた点は評価できると判断します。
- ・コロナ禍でも美容分野は微増であり、名美専は継続的に入学定員一杯を確保しているとのこと。現在、名美専の人気は高校生、サロンの両方から支持されていると思います。
- ・インターンシップについては有意義な議論ができました。委員会からは提案に留め、後は学校にお任せしたい。

以上